

え〜お笑いを一席



製鉄室蘭病院で院内落語会

室蘭市の製鉄記念室蘭病院（松木高雪院長）の院内落語会が16日夜行われ、同院公演ではおなじみとなった柳家三之助さんが入院患者や地域住民を楽しませた。

会場の1階フウンジには60人が集まった。三之助さんは演目「かぼちゃ屋」など2席を披露。20歳になってもぶらぶら遊んでいる与太郎が商いの元値と掛け値を教わるストーリーと三之助さんの話術に、会場は笑いが広がっていた。入院中の80代の患者は「退屈で寝れない日もあるので、きょうは初めて見に来た」と笑顔で話していた。

1995年（平成7年）に10代目柳家小三治入門、2010年に真打に昇進した三之助さんは全国各地で公演しており、3年前から訪れている同院の公演は5回目。

（高橋昭博）

▲ 古典落語で入院患者らを引きつける三之助さん